

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-8号)

平成28年7月27日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年7月26日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

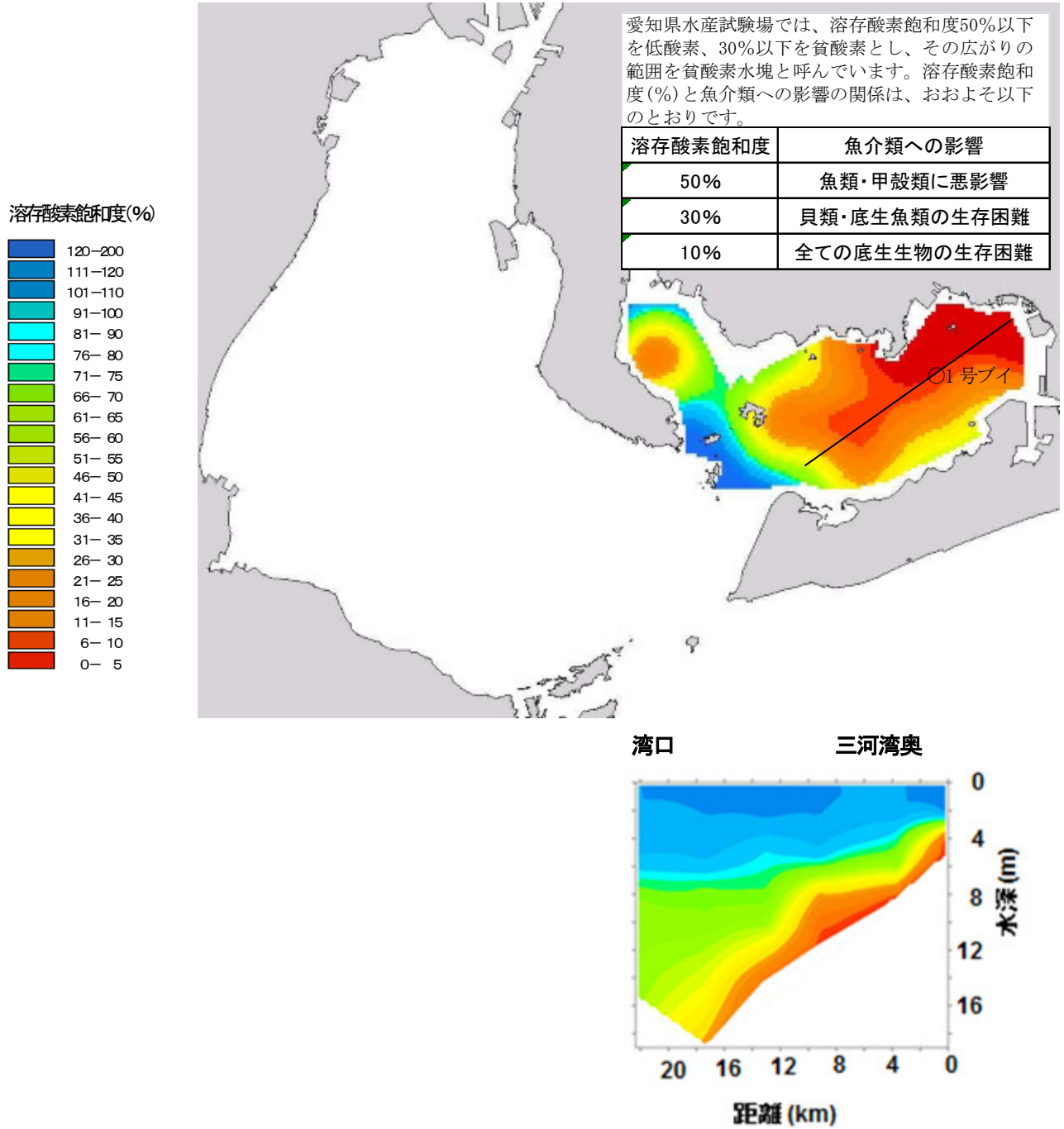


図1 三河湾(7月26日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月26日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月12日)に比べて渥美湾の貧酸素水塊の規模が拡大し、特に湾奥部で溶存酸素飽和度が低くなっています。また、知多湾の一部でも貧酸素水塊が確認されました。

自動観測ブイ(1号ブイ:蒲郡沖)のデータを見ると、強い風が吹いた22日に海水の上下混合がありました。貧酸素水塊の解消までには至らず、底層では貧酸素化が進行しています(図3)。

今後は、26日の降雨の影響による表層の低塩分化により、表底層の密度差が大きくなり、海水の上下混合が起きにくくなるため、さらに貧酸素化が進行すると思われます。

また、湾奥部では岸寄りに貧酸素水塊があり、東寄りや北寄りの風が継続して吹くと苦潮が発生する可能性があります。注意が必要です。

	水温(°C)		塩分	
表層	24.2	~ 27.4	28.5	~ 31.7
底層	20.2	~ 24.5	31.4	~ 33.1

図2 調査時の水温・塩分

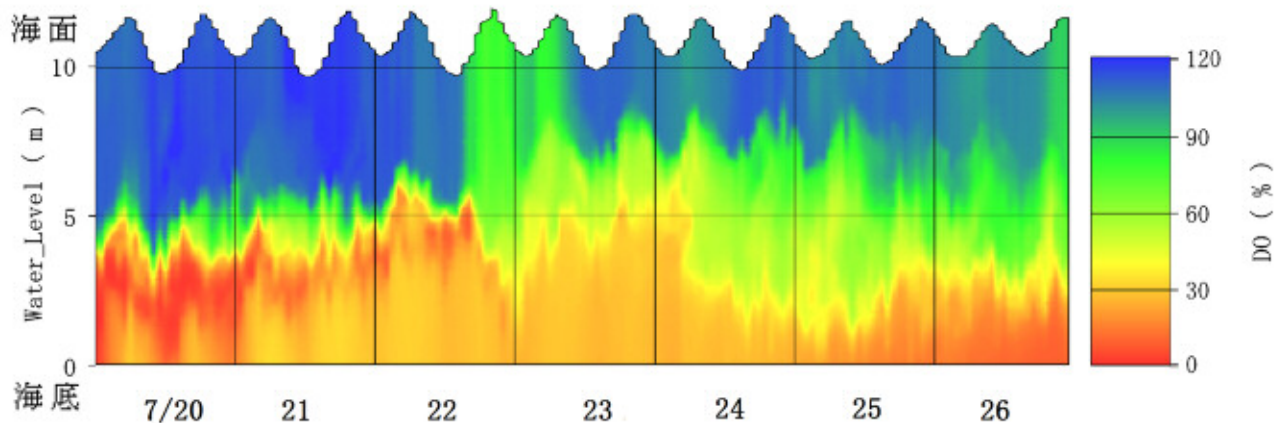


図3 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

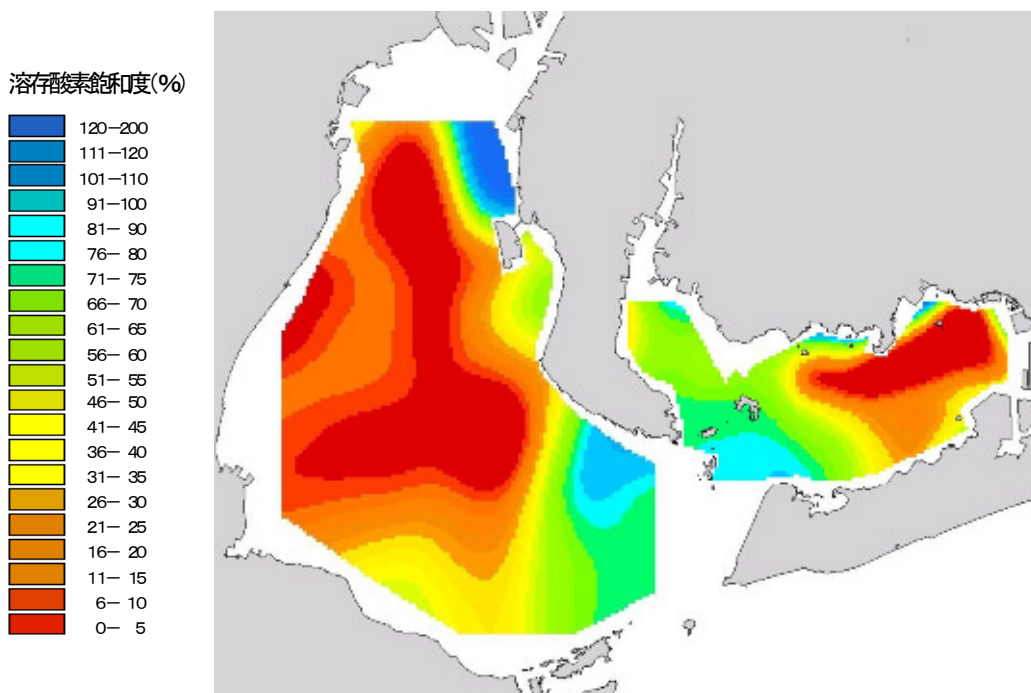


図4 平成28年7月1日(伊勢湾)、7月12日(三河湾)